

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

麦類の生育後期における赤かび病防除の徹底について

本年は麦類の開花期頃に断続的な降雨があり、赤かび病が感染しやすい気象条件で推移したため、4月13日に注意報を発表したところですが、その後も断続的に降雨があり、発生が増加しています。

ついては、確実な2回目防除の実施に加え、小麦では、発生が多い圃場やパン用品種において、かび毒の発生抑制を目的とした3回目防除を実施していただくよう、生産者への指導をお願いします。

記

1. 発生状況（令和8年5月1日定期調査）

- 1) 小麦における調査（県内23圃場）では、平均発生茎率は0.9%（平年0.2%、前年0%）と平年より多かった。
- 2) 大麦における調査（県内21圃場）では、平均発生茎率は4.0%（平年0.8%、前年0%）と平年より多かった。

2. 防除対策

1) 小麦

- (1) 本病に対する2回目防除を開花10～20日後頃に行う。2回目防除が遅れている場合は、速やかに薬剤防除を行う。
- (2) 圃場での本病の発生状況を必ず確認し、発生が多い圃場や、パン用品種では、2回目防除の7日目以降に、かび毒の発生抑制を目的とした3回目の防除を実施する。収穫前日数や使用回数に留意して薬剤散布する。

2) 大麦

- (1) 本病に対する2回目防除を1回目防除（蒴殻抽出期）の7～10日後頃に行う。2回目防除が遅れている場合は、収穫前日数や使用回数に留意して、速やかに薬剤防除を行う。

3) 共通

- (1) 刈り遅れや倒伏により降雨に当たると、かび毒発生を助長する原因となるため、適期に確実に収穫する。

表 1 麦類赤かび病の防除適期

麦種	品種	開花		開花10日		開花20日		開花30日	
		↓ 出穂期 ↓ 穂揃期	↓ 開花期(小麦) ↓ 葯殻抽出期(大麦)	↓ 開花期(小麦) ↓ 葯殻抽出期(大麦)	↓ 開花期(小麦) ↓ 葯殻抽出期(大麦)	↓ 開花期(小麦) ↓ 葯殻抽出期(大麦)	↓ 開花期(小麦) ↓ 葯殻抽出期(大麦)	↓ 開花期(小麦) ↓ 葯殻抽出期(大麦)	↓ 開花期(小麦) ↓ 葯殻抽出期(大麦)
		0	+5日	+10日	+15日	+20日	+25日	+30日	+35日
小麦	パン用品種			↔		↔	↔	↔	注)
	シロガネコムギ			↔		↔	↔	↔	注)
	チクゴイズミ			↔		↔	↔	↔	注)
大麦	はるか二条				↔	↔	注)		
	しらゆり二条				↔	↔	注)		
	サチホゴールド				↔	↔	注)		

↔ : 1回目防除

↔ : 2回目防除

↔ : かび毒低減を目的とした追加防除

注) 薬剤の使用方法（収穫前日数、使用回数）に特に注意する。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病虫害防除部

〒840 - 2205 佐賀市川副町南里 1088

TEL (0952)45 - 8153 FAX (0952)45 - 5085

Mail nougyougijutsu@pref.saga.lg.jp

ホームページ <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>

病虫害総合防除計画 <https://www.pref.saga.lg.jp/kiji003101844/index.html>

防除センター

二次元コード



総合防除計画

二次元コード

